

第 26 回日本語弁論大会実施要領

I. 開催日時及び会場

日時： 2020 年 4 月 11 日(土) 13:00～

会場： ブルガリア科学アカデミー内講堂

II. 目的

- (1) ブルガリアにおける日本語学習者に一層の意欲を与え日本語能力の向上を支援する。
- (2) 日ブルガリア二国間の文化交流及び文化理解に寄与する。

III. 応募資格

(1) 初級の部

ア 18 歳以上:学習時間 500 時間未満, 10 ヶ月以上の日本滞在経験無し

イ 18 歳未満:学習時間 750 時間未満, 10 ヶ月以上の日本滞在経験無し

(2) 中級の部

ア 18 歳以上:学習時間 500 時間以上・1000 時間未満, 10 ヶ月以上の日本滞在経験無し

イ 18 歳未満:学習時間 750 時間以上・1000 時間未満, 10 ヶ月以上の日本滞在経験無し

※なお, 学習時間については 2020 年 4 月 1 日時点で計算することとする。

IV. 応募方法

出場希望級用(中級又は初級)の申請書及び大会にて発表を希望する弁論原稿(全文)を 2 月 28 日(金)までに在ブルガリア日本国大使館へ提出する(電子データ)。なお, 大会本番における弁論の制限時間は 3 分であり, 3 分 15 秒を超える弁論は減点対象となるので, 右時間内に発表できる程度の長さのものとする。また, 特設テーマの指定は設けない。

在ブルガリア日本国大使館住所: Culture and Information Section,
(広報文化センター) Embassy of Japan in Bulgaria
14 Lyulyakova Gradina St. 1113 Sofia
Email: emb-jp-bg@sf.mofa.go.jp

V. 審査方法

(1) 第一次審査：日本語の弁論原稿による審査を行う。

(2) 最終審査：弁論による審査及び質疑応答による審査を行う。なお、最終審査の要領は以下のとおり。

ア 参加者は、日本語によるスピーチを用意し、暗記の上、聴衆の前で3分間で発表する。3分15秒を超える弁論は以下の要領で減点される。制限時間である3分を経過した時点で、タイムキーパーが「3分です」という紙を弁論者に見えるように提示する。

- ① 3分15秒～20秒 1点減点
- ② 3分21秒～30秒 3点減点
- ③ 3分30秒を越える場合 5点減点

イ 質疑応答：スピーチ終了後、スピーチ内容に関する2問の質問(日本語)を行いその対応ぶりも採点項目とする。初級・中級各部門の質問事項は以下のとおり。

【初級】 ①はい、いいえで答えられる質問, ②事実を問う質問

【中級】 ①事実を問う質問, ②意見を問う質問

ウ 5名程度の審査員により、審査基準の各項目に従って採点を実施。採点結果の集計に基づき、要すれば審査員による協議の上、最終的な順位を決定する。

【審査基準】 内容に関し、①独創性, ②論理性, ③内容全体を、話し方に関し、①発音, ②流暢さ, ③話し方, アピールの仕方全般を基準に審査を行う。

【採点方法】 各審査員は審査基準に従って各自上位1～5位を決定し、1位＝8点, 2位＝5点, 3位＝3点, 4位＝2点, 5位＝1点のポイントを与える。その点数を集計し、得点の高い順に総合順位1～5位が決定される。

VI. 日程

2月28日(金)： 書類提出期限(在ブルガリア大使館必着)

3月6日(金)： 第一次審査の合格者発表

4月11日(土)： 大会本番(最終審査と表彰)

VII. 留意事項

禁止事項

(1) スピーチの際の原稿は一切持ち込み禁止とします。

(2) スピーチの際に小道具等は一切持ち込み禁止とします。

(了)